

林産試ニュース

●パンフレット「カラマツ堆肥舎などを安心して使うために」を作成しました

林産試験場では、カラマツ材を活用した木造堆肥舎について、材面に割れが発生した場合の安全性に対する判定方法や補強の方法について検討してきました。

その成果をとりまとめ、パンフレット「カラマツ堆肥舎などを安心して使うために」を作成しました。



パンフレットでは、カラマツ材を使用した構造物の接合部周辺に経年による割れが発生した場合の強度への影響や対応の方法、割れの発生を最小限にとどめる部材の乾燥方法などについて、分かりやすく解説しています。これらの判定や対策は、堆肥舎に限らずカラマツ材を用いた屋外構造物の維持管理にも適用できるものです。

林産試験場ホームページからダウンロードできますので、ご活用ください。

<http://www.fpri.asahikawa.hokkaido.jp/manual/ka-ramatsu/taihisya.htm>

お問い合わせは企画指導部技術係(内線 368)まで。

●発熱合板で特許を取得しました

合板製造時に用いる接着剤にカーボン、グラファイトなどの導電性を持つ物質を混入して接着剤に導電性を持たせ、配線して通電することにより、合板自体を発熱させることができます。一般的な合板製造設備を使って、接着剤に混ぜるなどして製造することが可能なため、大規模な設備投資も不要です。

林産試験場では、この発熱合板の開発や応用について研究しており、このたび特許を取得することができました。現在、床暖房や木質系の暖房製品などへの応用を検討しています。

お問い合わせは、合板科(内線 393)まで。



フットヒーター(試作品)

●林業技術シンポジウムで発表しました

2月9日(木)東京都において、第39回林業技術シンポジウムが開催されました(主催:全国林業試験研究機関協議会)。開催テーマは『災害に強い森林づくりをめざして』で、これに関連した研究発表や講演などが行われました。

会場からは、技術部の金森主任研究員が「2004年台風18号による森林風倒被害に関する調査研究～風倒被害木の利用について～」と題する発表を行いました。これは、昨年度北海道で猛威をふるった台風18号による被害を受けて、場内にプロジェクトチームを設置して風倒被害木の利用に関する調査結果を取りまとめたもので、会場内の関心を集めていました。

林産試だより

2006年 3月号

編集人 北海道立林産試験場
HP・Web版林産試だより編集委員会
発行人 北海道立林産試験場
URL: <http://www.fpri.asahikawa.hokkaido.jp/>

平成18年3月1日 発行
連絡先 企画指導部普及課技術係
071-0198 旭川市西神楽1線10号
電話0166-75-4233(代)
FAX 0166-75-3621